

日本郵船 自動車運搬船「ARIES LEADER」の見学会を実施

当協会は、「海と日本プロジェクト」の一環として、会員会社をはじめ、関係団体と連携し、商船や造船所の見学会などを「船ってサイコ〜」と題し実施し、海運の重要性を一般の方々に広く認識いただくべく広報活動に力をいれております。

7月21日（日）に横浜・大さん橋にて開催された「海洋都市横浜うみ博 2019」において、日本郵船は、自動車運搬船「ARIES LEADER」の見学会及びタグボートの体験乗船会を開催し親子連れをはじめとする約 1,700 名の方が参加しました。

約 7,000 台の自動車を積載できる巨大な船内では、機関室でのエンジンの説明やエンジン発電機等の見学、船の歴史や種類の紹介パネル・船員制服・膨張式救命いかだ・コンテナ船やエンジンの模型などを展示しました。また、自動車の積み付けの実演も行い、約 10cm の左右間隔で自動車を積載していく技が披露され、さらに、自動車を船に



(ARIES LEADER に乗り込む参加者)



(エンジンの説明をする機関士)

固定する「ラッシング」も実演されるとともに、ラッシング体験コーナーも設けられました。

操舵室（ブリッジ）では、同社船長や航海士による航海機器の説明、防弾ヘルメット・チョッキや救命スーツなどの展示、制服を着用しての写真撮影などを実施しました。

岸壁ではオーシャン ネットワーク エクスプレス ジャパンの協力のもと、肉や魚介類などの生鮮食品の輸送に使用される冷凍・冷蔵コンテナを展示し、庫内にて冷却環境を体感していただきました。

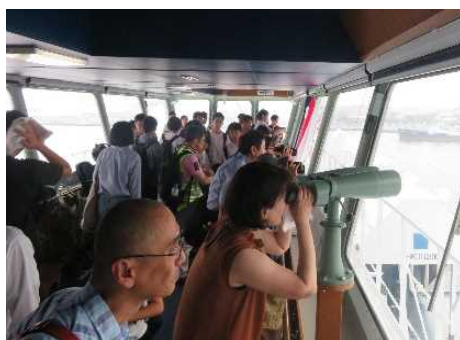
当日は学校教育関係者も招待し、「隙間なく積み込むことでより多くの車を運べることを知った」「船には運ぶものによって専用の船があって驚いた」などのコメントが寄せられるなど、今後の海運に関する授業への展開につながる機会を提供することができました。

新日本海洋社が主催したタグボート体験乗船会では、抽選で選ばれた約 50 名が参加し、横浜港内のショートクルーズを楽しんでいただきました。

当協会は引き続き会員会社と連携し、日々の暮らしを支える海運について広く知っていただくための活を実施してまいります。



(船員による機器の説明)



(ブリッジから景色を楽しむ参加者)



(ラッシングを体験する参加者)